

江戸川大学オープンカレッジ

2017 前期「一般教養講座」のご案内

101 講座 名画が語る人間の時代

～ルネサンスから近代へ～

開催日 金曜日 13:30～15:00 回数 全10回 受講料 15,000円 定員 50名 お申込み締切日 4/7(金)



市川 昌

江戸川大学名誉教授

日本教育メディア学会会員

日本生涯教育学会会員

人間はいつの時代も、歴史の流れのなかで「暗い夜もいつか朝になる」と信じて、常に人間らしさを求めて葛藤してきました。中でも、15世紀に起こったルネサンスから、20世紀の近代芸術までの流れは、厳しい時代状況のなかで「人間らしい生き方とは何か」という主題を模索し、追求していく過程そのものと言えます。

この講座では、主に美術、映画などの映像をもとに、激動のルネサンス期から近代社会の時代において、さまざまな角度で「人間らしさ」を表現してきた個性的な先人たちの生涯と作品について解説します。

- 第1回 4月14日 ◆ダ・ヴィンチとモナリザの微笑
- 第2回 4月21日 ◆ボッティチェリと春の饗宴
- 第3回 5月12日 ◆カラヴァッジョと生と死の美
- 第4回 5月19日 ◆写楽と歌舞伎絵の役者たち
- 第5回 6月9日 ◆ルノアールと近代の家族愛
- 第6回 6月16日 ◆ダリとシュールレアリズムの画家たち
- 第7回 7月7日 ◆ピカソと戦争と女性たち
- 第8回 7月14日 ◆世紀末不安と「カリガリ博士」
- 第9回 9月8日 ◆チャップリンとヒットラー「独裁者」
- 第10回 9月15日 ◆瀬戸内の分校と木下恵介「二十四の瞳」

お申込み・お問い合わせ

江戸川大学駒木学習センター

TEL 04-7156-7715

E-mail stcenter@edogawa-u.ac.jp

URL <http://www.edogawa-u.ac.jp/stcenter/>

102 講座 日本人と神社 ～神社の諸相と果たしてきた役割～

開催日 木曜日 13:30～15:00 回数 全8回 受講料 12,000円 定員 20名 お申込み締切日 5/11(木)



宇野 正人
江戸川大学名誉教授

日本においては、様々な神が存在し、全国各地で現在も丁寧に祀られ、信仰を集めています。一神教を主体とする国が多い中、こうした特徴ある神々が存在し受け入れられている日本は、世界から見ても稀な国と言えます。

この講座では、日本人が自らの社会、文化、伝統を考えるためのベースとして、日本人の宗教観について、その中でも神社を取り上げ、その歴史や、日本の社会システムが作り上げてきた神社の役割について考えていきます。

- 第1回 5月 18日 ◆ はじめに 日本固有の信仰体系である神社
- 第2回 5月 25日 ◆ 神社の歴史 I ～古代から近世
- 第3回 6月 1日 ◆ 神社の歴史 II ～近代から現代
- 第4回 6月 15日 ◆ 神社が祀る神々 ～祭神
- 第5回 6月 22日 ◆ 神社が祀られる場所 ～鎮座地
- 第6回 6月 29日 ◆ 神社建築 ～社殿の様式、名称と役割
- 第7回 7月 6日 ◆ 信仰の伝え手 ～分祀、代参、講社
- 第8回 7月 20日 ◆ 祭祀と参拝 ～神職及び氏子や崇敬者の役割

103 講座 迷走続くわが国の再生可能エネルギー

～安定した電力の供給方策を考える～

開催日 火曜日 14:00～15:30 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 5/9(火)



帆足 興次
江戸川大学名誉教授
NPO 法人社会システム
研究フォーラム理事

3.11での福島事故以降、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に向け、日本のエネルギー政策は大きく舵を切ってきました。しかし、導入促進を図る制度設計の甘さもあり、とくに太陽光発電ではその金融商品化が危惧されたり、景観破壊などの問題が顕在化してきました。これらは予測できない問題だったのでしょうか。さらには、発送電分離やガスの自由化などエネルギー市場は自由化に向かっていますが、わが国の安定な電力供給を持続することは可能でしょうか、原発を今後どうするのでしょうか。

この講座では、われわれが慎重に選択すべき今後のエネルギー問題を考えます。

- 第1回 5月 16日 ◆ 電力の安定供給 ～求められる電気の「質」の確保
- 第2回 5月 30日 ◆ 再エネ導入制度の光と影 ～原発依存脱却がもたらすはずみ
- 第3回 6月 13日 ◆ 原子力発電の可否 ～今後をどうするのか
- 第4回 6月 27日 ◆ これからのエネルギーシステムを考える

104 講座 ノーベル賞と日本人 ～日本人受賞者の業績と人となり～

開催日 月曜日 14:00～15:30 回数 全6回 受講料 9,000円 定員 30名 お申込み締切日 5/1(月)



餌取 章男

江戸川大学元教授
大阪大学・東京工業
大学非常勤講師
日経サイエンス初代
編集長
科学ジャーナリスト

1949年に湯川秀樹博士が日本人初のノーベル賞を受賞して以来、20世紀の日本人受賞者はわずか5人でした。ところが、21世紀になると受賞者の数は一気に増加し、今や毎年1人の割合で科学賞を受賞しています。一方、日本ではオリンピックのメダルのように受賞したことのみに取り沙汰され、肝心の業績についてはよく知らない、という人も多いようです。

この講座では、世界最高の賞といわれるノーベル賞の受賞者を取り上げ、彼らが受賞した業績をわかりやすく解説します。また、ジャーナリストとして受賞者の殆どにインタビューを行った講師が、それぞれの受賞者の人柄をあらわすさまざまなエピソードについても披露します。

- 第1回 5月8日 ◆ 湯川秀樹博士 ～キャッチボールでひらめいた中間子
- 第2回 5月15日 ◆ 利根川進博士 ～免疫の不思議を遺伝子で探る
- 第3回 5月22日 ◆ 小柴昌俊博士 ～ニュートリノの重さをもつけたカミオカンデ
- 第4回 5月29日 ◆ 南部陽一郎博士 ～小林・益川理論を産んだ素粒子論の父
- 第5回 6月5日 ◆ 江崎玲於奈博士 ～ショックレーに注目されたトンネルダイオード
- 第6回 6月12日 ◆ 白川英樹博士 ～プラスチックが電気を通す

105 講座 絵本に親しむ ～子どもとおとなと絵本たち～

開催日 火曜日 10:30～12:00 回数 全3回 受講料 4,500円 定員 20名 お申込み締切日 4/4(火)



浅川 陽子

江戸川大学教授
江戸川大学子どもコミュニケーション
研究所長
元『学校図書館』編集委員

幼い子どもにとって絵本はものを知り、心を重ねて、ワクワクしながら世界に触れていく窓口です。おとなは絵本を手取ることによって、忘れかけていた大切なことを思い出したり、絵本に込められたメッセージに気づいたりもします。

絵本は文字に未熟な乳幼児対象の児童文化財という側面だけでなく、おとなにとっても人生の道しるべとなる貴重なメディアとして見直されています。

この講座では、そのような素敵な絵本たちをたくさん紹介し、一緒に学んでいきましょう。

※ この講座は、お子様ご同伴でのご受講も可能です。(託児等はいたしません)
詳しくはご相談ください。

- 第1回 4月11日 ◆ 0・1・2歳児頃の絵本たち
- 第2回 4月25日 ◆ 3・4・5歳頃の絵本たち
- 第3回 5月9日 ◆ 小学生からおとなにもお勧めの絵本たち

106 講座 音楽の旅路 ジャズ

～ブラジリアン・ジャズ。ジャズの影響を最も受けているブラジル音楽のジャズ的な切り口～

開催日 金曜日 11:00～12:30 回数 全6回 受講料 9,000円 定員 20名 お申込み締切日 4/10(月)



荒木 健

江戸川大学非常勤講師
作曲家、ベース奏者

20世紀のアメリカ合衆国で誕生し、やがて世界で親しまれるエンターテインメントとなったジャズ。その歴史の中で燦然と輝く名演奏家と数々の名曲たちの魅力を探ります。

今回はブラジリアン・ジャズに焦点を当てます。1950年代にアントニオ・カルロス・ジョビンが登場してから現在まで、ブラジル音楽は世界のミュージシャンを虜にして来ました。優美なボサノバのメロディと情熱的なサンバのリズム。素晴らしいメロディに耳を傾けながら、お気に入りの音楽との新しい過ごし方を見つけましょう。

- 第1回 4月14日 ◆ ブラジリアン・ジャズの原点を聴く ～アントニオ・カルロス・ジョビン他
- 第2回 4月28日 ◆ ジャズの巨人たちとボサノバ・ソング ～マイルス・デイビス、ビルエバンス他
- 第3回 5月19日 ◆ ボーカリストとブラジルのメロディ ～エラ・フィッツジェラルド、ヘレン・メリル他
- 第4回 6月2日 ◆ ブラジルのジャズミュージシャン達 ～タニア・マリア、セルジオ・メンデス他
- 第5回 6月16日 ◆ クールジャズとブラジリアン ～スタン・ゲッツ、ジョアン・ジルベルト他
- 第6回 6月30日 ◆ 今日活躍するミュージシャンとブラジル音楽

107 講座 おもてなし英語・初級 英語で話しかけてみよう

～シンプルで短い文章からはじめる、一言英会話～

開催日 水曜日 13:30～15:00 回数 全10回 受講料 16,500円 定員 12名 お申込み締切日 4/12(水)

2020年のオリンピック開催を控え、訪日外国人の数も年々増えています。街中で外国人の方を見かけるたびに、「英語で話しかけたい」「道を聞かれたらおどおどせず答えられるようになりたい」と思われる方も沢山いらっしゃるのではないのでしょうか。

この講座では、まずは「一言、短く簡単な言葉で伝える」ことを目標に、英会話の第一歩を切ることを目的としております。黙っているよりも、笑顔でひとこと挨拶が出来るだけで、印象は全く異なります。一緒に英会話の第一歩を踏み出しましょう。

- 第1回 4月19日 ◆ 出会った時の会話（最初に何を話す？）
- 第2回 4月26日 ◆ 出会った時の会話（挨拶のあとに何を話す？）
- 第3回 5月10日 ◆ 出会った時の会話（日本には初めて？）
- 第4回 5月17日 ◆ 道端で、駅で話すとき（英語で道を聞かれたら？）
- 第5回 5月24日 ◆ 道端で、駅で話すとき（駅で話しかけられたけど、聞き取れない！）
- 第6回 5月31日 ◆ 道端で、駅で話すとき（困っている人に声をかけたい）
- 第7回 6月7日 ◆ 食べ物の話（食事に誘う表現は？）
- 第8回 6月14日 ◆ 食べ物の話（旅行先でも使える、レストランでの表現）
- 第9回 6月21日 ◆ 食べ物の話（日本の食べ物を英語で説明してみましょう）
- 第10回 6月28日 ◆ すみませんとごめんなさい（Excuse me と I'm sorry の使い分け）

※ この講座は「パークレーハウス語学センター」による英会話講座です。専任の英語講師が担当いたします。

108 講座 先人たちの生きる知恵「発酵」を暮らしにいかす

～腸内活性化！免疫力アップ！体に優しい～

開催日 木曜日 10:30～12:00 **回数** 全3回 **受講料** 7,500円（各講座で使用する材料費を含みます）

定員 20名 **お申込み締切日** 5/11(木)



大瀬 由生子

社団法人日本糀文化協会代表理事、料理研究家、イタリアレストラン「コメ・スタ」企画室長、フード/テーブルコーディネーター

古来より日本人の暮らしに寄り添い、多くの恵みをもたらしてきてくれた糀。糀は、食材を美味しくし、栄養や保存性を高めるだけでなく、美容・健康の効果も高めてくれる、日本の国菌です。

ユネスコの無形文化にも登録された「和食」には、味噌・醤油・酒・味醂・酢など、糀の発酵により作られる調味料が不可欠で、我々の食生活にとって発酵がいかに身近な存在であるかがわかります。しかし、日本人が誇れる優れた糀文化をよく知らない方も増えています。

そこでこの講座では、味噌、甘酒、お酢を取り上げ、その効能を学びます。贈り物にも使える可愛い「味噌玉」を実際に作ったり、甘酒の試飲、フルーツビネガーの作り方など、手軽な工夫・レシピもご紹介します。

- 第1回 5月18日 ◆「味噌玉講座」味噌の効能を学びながら、味噌玉を作ろう！
- 第2回 6月15日 ◆「甘酒講座」甘酒の効能を学び、甘酒を楽しもう！
- 第3回 7月20日 ◆「お酢講座」お酢の効能を学びながら、フルーツビネガーを作ろう！

講師プロフィール

大学や企業、カルチャーセンターなどの講師他、イタリアレストラン「コメ・スタ」の企画室長として商品開発、イベントなどで活躍。NHK「あさイチ」にも出演。著書は20冊以上。海外（台湾、韓国など）にも翻訳されている。

社団法人日本糀文化協会を設立し、理事長として糀の発酵文化の発展・普及を目的に講座・講演などで活動中。発酵・食育・野菜を中心に、体が喜ぶこと、心豊かな暮らしを提案している。（日本糀文化協会 <http://kouji-bunka.com/>）

主な著書に『10歳からのお料理教室』（日東書院）『男の弁当手帖』（辰巳出版）『はじめてのお料理レッスン』（西東社）『365日、醸す暮らし 糀ことはじめ』（ジャパンライフデザインブックス）『友チョコ&友スイーツ手作りレシピ』（主婦の友社）他多数。

109 講座 世界のお茶の楽しみ方 ～日本茶・紅茶・中国茶を味わう～

開催日 木曜日 13:30～15:00 **回数** 全3回 **定員** 15名

受講料 5,400円（各講座で使用する材料費を含みます） **お申込み締切日** 5/8(月)



関川 都代

ティー愛好家、フードアナリスト、フードアナリスト認定講師

世界中で親しまれているお茶には、地域によって実にさまざまなものがあります。その中から「おもてなし」の一品を見つけるには？ また「おもてなし」された時に知っておきたいマナーや知識は？ そんなこんなを、ゆったりと各回テーマのお茶を味わいながら紐解いていきます。美味しい淹れ方からお茶の歴史まで、いつもとはちょっと違った視点でお茶を味わい、お気に入りの一品を一緒に見つけませんか？

講師プロフィール

ガーデンティー美飾館、淑徳大学公開講座、n-school (Nobleness Oblige)にてティー講師。創作茶会、お茶イベントの企画開催。和洋中すべてのお茶と茶空間について研鑽を重ねる。

- 第1回 5月11日 ◆ 中国茶の楽しみ方 ～中国茶のいろは
- 第2回 6月8日 ◆ 紅茶の楽しみ方 ～アフタヌーンティー
- 第3回 7月13日 ◆ 日本茶の楽しみ方 ～冷茶で味わう日本茶

110 講座 日常に生かすかな書道(継続)

開催日 火曜日 18:30~20:00 回数 全18回 受講料 30,000円 定員 15名



村竹 恵子
書家

仮名と漢字で書の基本を学び、日常の生活にも生かせるようにしていきます。作品作りにも挑戦して、書の楽しみを広げましょう。書の鑑賞や歴史にも触れていきます。

期間 4月11日(火)~9月26日(火)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

111 講座 日常に生かす美しい書道(継続)

開催日 火曜日 10:30~12:00 回数 全18回 受講料 30,000円 定員 15名

村竹 恵子
書家

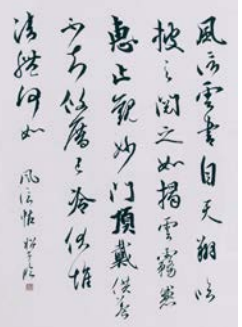
小筆を中心に仮名と漢字の書の基本を学び、日常の生活にも生かせるようにしていきます。作品作りにも挑戦して、書の楽しみを広げましょう。書の鑑賞や歴史にも触れていきます。

期間 4月11日(火)~9月26日(火)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

112 講座 古典に学ぶ美しい書道(継続)

開催日 水曜日 10:30~12:00 回数 全18回 受講料 30,000円 定員 15名



村竹 恵子
書家

平安時代の仮名や中国の書の習得により、自分の書を作り上げていきます。古典の鑑賞や書の歴史にも触れていきます。半紙や四分の一半切などの作品も仕上げます。

期間 4月12日(水)~9月27日(水)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

113 講座 基本の基本から学ぶ書道(継続)

開催日 金曜日 10:30~12:00 回数 全12回 受講料 21,600円 定員 15名

村竹 恵子
書家

ひらがなの基礎と漢字の基礎を学びます。自分で書けるようになるために、字の構造をしっかりと理解しながら練習していきます。また展覧会で平安の書などが鑑賞できるように、書の古典も学んでいきます。

期間 4月7日(金)~9月29日(金)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

114 講座 水彩スケッチを楽しむ(午前の部) (継続)

開催日 土曜日 10:30~12:00 回数 全12回 受講料 18,000円 定員 15名



村竹 清
アーティスト

すでにこの講座を受講された方から初歩の方まで、水彩スケッチを楽しみながら練習していくクラスです。毎回テーマごとにスケッチの練習と色のつけ方を学びます。簡単な美術史も取り入れ、その時々のお見聞の案内もします。

期間 (午前・午後とも)
4月8日(土)~9月16日(土)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため、今期の募集は行いません。ご了承ください。

115 講座 水彩スケッチを楽しむ(午後の部) (継続)

開催日 土曜日 13:30~15:00 回数 全12回 受講料 18,000円 定員 15名

水彩スケッチを楽しみながら練習をしていくクラスです。毎回テーマごとにスケッチの練習と水彩のつけ方を学びます。簡単な美術史も取り入れ、その時々のお見聞の案内もします。

期間 (午前・午後とも)
4月8日(土)~9月16日(土)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため、今期の募集は行いません。ご了承ください。

「水彩スケッチを楽しむ」受講生作品



201 講座 心理学概論 (前期) ～こころは実在しない～

開催日 水曜日 9:00～10:40 回数 全 14 回 受講料 20,000 円 定員 10 名 お申込み締切日 4/5(水)



福田 一彦

江戸川大学教授
医学博士
睡眠研究所所長
日本睡眠学会理事
日本睡眠改善協議会理事
日本生理心理学会理事

心理学は「こころ」を扱う学問であると言われてますが、「こころ」とは我々の中枢神経系を中心とした「からだ」で起こっているあるプロセスの言い換えに他なりません。この授業では、我々の心理的体験、行動がどのような生物学的・生理学的基礎を背景としているのかを学んでいきます。

- 第1回 4月12日◆心とは何か？(心という「仮説」の危険性について)
- 第2回 4月19日◆ものを見るとは？1(視覚系の構造と機能)
- 第3回 4月26日◆ものを見るとは？2(視覚世界の創造)
- 第4回 5月10日◆遺伝と環境1(知能とは何か)
- 第5回 5月17日◆遺伝と環境2(遺伝と環境の分離、研究法について)
- 第6回 5月24日◆遺伝と環境3(双生児研究法による成果、家庭の教育は重要か)
- 第7回 5月31日◆遺伝と環境4(遺伝の働きについて)

- 第8回 6月7日◆まとめ(小テスト1)
- 第9回 6月14日◆動物の発達について(刷り込み、代理母親)
- 第10回 6月21日◆赤ちゃんは何が出来るか出来ないか(立体視の成立、視覚的絶壁など)
- 第11回 6月28日◆不登校とは何か1(不登校に関する診断の歴史的理解)
- 第12回 7月5日◆不登校とは何か2(不登校概念の多様性の背景)
- 第13回 7月12日◆不登校とは何か3(不登校と生体リズム)
- 第14回 7月19日◆前半まとめ(小テスト2)

202 講座 哲学 ～哲学的実践を身につける～

開催日 木曜日 13:10～14:50 回数 全 14 回 受講料 20,000 円 定員 10 名 お申込み締切日 4/6(木)



荒谷 大輔

江戸川大学教授

お金はなぜ商品と交換できるのか？
なぜ、基本的人権は守らなければならないのか？
なぜ、人を殺してはいけないのか？
あまりにも「当たり前」で、問い直す必要も感じないようなことがらを改めて考えることで、今生きている社会の構造を意識化していきます。

※ これまで、前期に「哲学概論」後期に「哲学」を開講しておりますが、今年度より時間割編成が変わり、前期に「哲学」を開講いたします。受講をご検討の際はご注意ください。

- 第1回 4月13日◆哲学とは何か(あらためて考える)
- 第2回 4月20日◆「経済」の構造(アリストテレスにおける「経済」)
- 第3回 4月27日◆「経済」の構造(ストア派における「経済」)
- 第4回 5月11日◆「経済」の構造(キリスト教における「経済」)
- 第5回 5月18日◆「経済」の構造(ルネサンス期の思想)
- 第6回 5月25日◆経済と倫理の関係について(アダム・スミスの「経済」)
- 第7回 6月1日◆経済と倫理の関係について(カントの倫理)
- 第8回 6月8日◆古典派経済学の「経済」
- 第9回 6月15日◆古典派経済学における「信仰」
- 第10回 6月22日◆古典派経済学の破綻
- 第11回 6月29日◆新古典派経済学の「経済」
- 第12回 7月6日◆新古典派経済学の「信」
- 第13回 7月13日◆新古典派経済学と経済危機
- 第14回 7月20日◆危機に生きることについて考える

※お申込みに際してのご注意 201・202 講座ともに「一般公開授業」です。大学で実施している授業を学生と一緒に受講します。その性格上、授業の運営が最優先となりますので、ご理解の上でお申込みください。また、授業内で小テスト等が実施されることがありますが、受ける必要はありません。学期末の定期試験は、受講生は受けることはできません。成績・単位等も付与されません。